

# 資 料

## 1 沿革

- 明治 43年 宮古町（現：宮古市）にあった岩手県立水産学校の校舎の一部に、岩手県水産試験場を創設。試験部、庶務部の2部制で発足
- 大正 9年 水産試験場庁舎を釜石町只越（現：釜石市）に移転新築
- 昭和 2年 津軽石、大槌、釜石さけ人工ふ化場を水産試験場に移管
- 4年 2月、水産試験場に漁業用海岸局（無線局）を設置
- 8年 昭和8年3月3日の三陸大津波で、大槌さけ人工ふ化場設備の一切を流失
- 14年 水産試験場庁舎及び漁業用海岸局を釜石市新浜町に移転新築
- 23年 水産試験場に漁船技術員養成所を併設
- 24年 組織を庶務会計部、漁労部、養殖部、製造部の4部制に改編
- 25年 気仙郡赤崎町に赤崎実験所を開設
- 27年 組織を庶務会計部、資源調査部、増殖部、製造部の4部制に改編
- 28年 気仙郡広田町に水産試験場気仙分場を開設。組織を庶務会計部、漁労調査部、製造部の3部制に改編
- 31年 漁業用海岸局（無線局）を釜石市大平地区に移転新築
- 35年 組織を庶務部、漁撈調査部、増殖部、製造部の4部制に改編
- 36年 製造部を利用部に改称
- 42年 宮古市大沢に水産種苗センターと下閉伊分場を開設
- 44年 水産試験場庁舎及び附属施設を新築
- 45年 久慈市に水産試験場九戸分場を開設
- 48年 機構改革により庶務部、漁撈調査部、利用部、環境保全部、増殖部の5部制に改組。新たに専門技術員が駐在。翌49年、漁撈調査部を漁業部に、利用部を加工部に改称、専門技術員を室に改め5部1室制に組織改編
- 53年 専門技術員を林業水産部漁業振興課に移管。
- 54年 大船渡市末崎町に岩手県栽培漁業センターを開設
- 55年 宮古市津軽石に下閉伊分場を移転、開設。
- 56年 機構改革により気仙分場、赤崎実験所、水産種苗センターを廃止。水産試験場の増殖部と下閉伊分場、九戸分場を栽培漁業センターに移管、下閉伊分場を宮古分場、九戸分場を久慈分場と改称。水産試験場の組織を庶務部、漁業部、加工部、環境保全部の4部制に改編
- 57年 加工実験室を開放実験室として業者に開放
- 62年 九戸郡種市町に北部栽培漁業センターを開設。大船渡市末崎町の栽培漁業センターを南部栽培漁業センターに名称変更
- 平成 元年 漁船技術員養成所を廃止
- 6年 3月、釜石市平田に庁舎移転新築。水産試験場及び南部、北部栽培漁業センターを統合して岩手県水産技術センターに機構改革。宮古分場の名称をさけ・ます研究室に改称。総務部、企画指導部、漁業資源部、利用加工部、増養殖部、種苗開発部、漁場保全部、さけます研究室の7部1室制に改組。久慈分場は廃止
- 9年 さけます研究室業務を漁業資源部が所管し、職員は漁業資源部員（3名）が兼務
- 11年 組織改編により水産業専門技術員を本庁から水産技術センターへ移管

- 13年 宮古市津軽石のさけ・ます研究室を廃止  
 18年 岩手県行財政構造改革プログラムにより総務部、企画指導部、漁業資源部、利用加工部、増養殖部及び漁場保全部の6部制に改編  
 19年 マナマコ種苗生産技術開発のため（社）岩手県栽培漁業協会種市事業所に駐在職員を派遣  
 21年 マナマコ種苗生産技術確立により（社）岩手県栽培漁業協会種市事業所への職員駐在終了  
 22年 水産試験場開設から100周年を迎える  
 23年 東日本大震災津波によりセンター施設が被災  
 26年 被災した施設の復旧工事終了  
 28年 台風10号により県北ふ化場施設が被災

## 2 職員名簿

職 氏 名	転 入 等 の 状 況
所 長 煙 山 彰	H28. 4. 1 転入（前任・内水面水産技術センター）
副 所 長 清 水 道 彦 副所長兼漁場保全部長 首席水産業普及指導員 久 慈 康 支 武 蔵 達 也	H28. 4. 1 昇任（首席専門研究員兼企画指導部長） H28. 4. 1 昇任（増養殖部長）
総 務 部 部 長 昆 野 宣 弘 主 査 主 濱 隆 志 主 事 高 橋 宏 和	H28. 4. 1 転入（前任・遠野農林振興センター） H28. 4. 1 転入（前任・一関児童相談所）
企 画 指 導 部 部 長 横 沢 雄 大 上 席 専 門 研 究 員 平 嶋 正 則 主 任 専 門 研 究 員 田 中 一 志	H28. 4. 1 転入（前任・漁業取締事務所）
漁 業 資 源 部 部 長 横 澤 祐 司 上 席 専 門 研 究 員 太 田 克 彦 専 門 研 究 員 児 玉 琢 哉 専 門 研 究 員 山 根 広 大 専 門 研 究 員 高 梨 愛 梨 技 師 川 島 拓 也 技 師 及 川 利 幸	H28. 4. 1 転入（前任・大船渡水産振興センター） H28. 4. 1 新採用
利 用 加 工 部 部 長 菊 池 達 也 上 席 専 門 研 究 員 上 田 智 広 主 査 専 門 研 究 員 藤 嶋 敦 主 査 専 門 研 究 員 小 野 寺 宗 仲	
増 養 殖 部 部 長 西 洞 孝 広 上 席 専 門 研 究 員 田 老 孝 則 上 席 専 門 研 究 員 堀 越 健 主 任 専 門 研 究 員 大 村 敏 昭 専 門 研 究 員 貴 志 太 樹	H28. 4. 1 昇任（上席専門研究員） H28. 4. 1 昇任（主査専門研究員） H28. 4. 1 昇任（専門研究員）

職 氏 名	転 入 等 の 状 況
技 師 佐 々 木 司	H28. 4. 1 新採用
漁 場 保 全 部	
上 席 専 門 研 究 員 加 賀 克 昌	
主 任 専 門 研 究 員 内 記 公 明	
専 門 研 究 員 渡 邊 志 穂	
技 師 瀬 川 勲	H28. 4. 1 新採用
岩 手 丸	
船 長 心 得 村 上 孝 弘	
上 席 機 関 士 湊 野 光 善	
主 査 航 海 士 金 野 善 広	
主 査 通 信 士 藤 沢 収 良	
主 任 機 関 士 小 山 村 良 宏	H28. 4. 1 昇任 (機関士)
航 海 士 中 武 田 拓 也	
航 海 機 長 佐 々 木 義 達	
操 板 長 三 浦 義 久	
甲 板 員 山 崎 久 雄	
北 上 丸	
主 任 航 海 士 藤 井 正 樹	
主 査 機 関 士 熊 谷 勇 一	
主 任 航 海 士 福 士 正 紀	
主 任 通 信 士 黒 沢 清 隆	
機 関 士 細 谷 優 太	

### 3 表彰

表彰区分	職名	氏名	実績の概要	受賞日
「海の日」海事功労者表彰 (釜石市)	主査専門研究員	小野寺宗仲	地域水産業の振興 (海藻の高速攪拌塩漬法および装置の開発)	H28. 7. 25
産学官連携功労者表彰 (農林水産大臣賞)	主査専門研究員	小野寺宗仲	海藻の高速攪拌塩漬法および装置の開発	H28. 8. 26
平成 28 年度第 2 回農林 水産部長表彰	専門研究員	児玉琢哉	海況変動を考慮した漁海況予測 技術の開発	H29. 3. 28